



HDCCD47404P9 SA1803-C Printed in China
© 2016 CASIO COMPUTER CO., LTD.

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書は必ず大切に保管してください。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

火中に投入しない
本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。万一、口に入った場合は、すぐにうがいをし医師に相談してください。目に入った、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

本書について

- 本書の計算結果(例)は、一部省略されていることがあります。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書および本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

ご使用上の注意

- 静電気等の影響で本機が正常に動作しなくなった場合は、AC電源を押して、操作を再開してください。
- 極端な温度条件下や、急激な温度変化のある場所での使用や保管は避けてください。(使用温度0℃~40℃)
- 湿気やほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。
- 「ひねり」や「曲げ」を与えないでください。
- ボールペンなど鋭利なものでキー操作をしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布をご使用ください。
- 電池が消耗すると、ピープ音が小さくなったり鳴らなくなったりします。その時は電池を交換してください。
- 電池交換をすると、設定した税率やメモリーの内容が変化・消失する場合があります。また、電池消耗時に太陽光が遮られたときも同じ現象が起こります。早めに電池を交換し、税率を適切な値に設定してください。

自動節電機能 (オートパワーオフ)

無駄な電池消費を防ぐため、操作完了後約6分で自動的に電源が切れます。再び計算を始めるときはAC電源を押してください。

- 自動節電機能は常に作動します。
- レビュー&オートレビュー機能の使用中に自動節電機能で電源が切れた場合、AC電源と押すと、電源が切れる前の状態に戻ることができます。

電池の交換 (暗い所などで画面の数字が見えにくくなった)

電池が消耗している場合、早めにお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」へ電池交換をご依頼ください。

主な仕様

使用電池： 太陽電池、LR44
電池寿命： 約3年(1日1時間使用時)
・本機をご使用にならない場合も、3年に1度は必ず電池を交換してください。
寸法・質量： DJ-120W: 144×192×34.6mm, 205g
MJ-120W: 126.5×148×28.6mm, 140g

計算を始める前に

新たに計算を始めるときはAC電源を押します。

小数の端数処理について (DJ-120W)

F CUT UP 5/4
[F] ラウンドセレクター

F …… 小数を端数処理しません。通常は「F」に合わせておきます。
CUT …「切り捨て」して、指定した小数位まで答えを求めます。
UP …… 「切り上げ」して、指定した小数位まで答えを求めます。
5/4 …… 「四捨五入」して、指定した小数位まで答えを求めます。

・本書の計算例では、ラウンドセレクターを「F」の状態の説明しています。

4 3 2 1 0 ADD₂
[4] 小数点セレクター

小数位を指定します。(ラウンドセレクターは「F」以外に設定してください。)

4.3.2.1.0 …… 答えの小数位を指定します。指定した小数位の下1桁(2であれば3桁目)が「切り捨て」、「切り上げ」または「四捨五入」されます。
ADD₂ …… アドモード計算(小数第2位指定計算)を指定します。加減算のときは[+]を押さなくても、自動的に下2桁目に小数点が付きます。ドル計算などに便利です。ただし、[+]を押したときは、その小数点の位置が優先されます。また、加減算以外ではアドモード計算は使えません。

基本計算

「00」と「000」はそれぞれ「00」「000」を一度に入力できます。

四則計算

4 - 6 =	4 [M] 6 [M]	- 2.
(1+2)÷3×4-5.5 =	1 [M+] 2 [M] 3 [M] 4 [M] 5 [M] 5 [M]	- 1.5
2×(-3) =	2 [M] 3 [M] [-]	- 6.
修正の例 2 + 3 → 2 + 4 = 6	2 [M] 3 [M] [C] 4 [M]	6.
2 + … → 2 - 7 = - 5	2 [M] 7 [M] [-]	- 5.
122 → 123	122 [M] 3 [M]	123.

定数計算
繰り返し同じ数値を使って計算するときに便利です。

12 + 23 =	23 [M+] 12 [M]	K	35.
45 + 23 =	45 [M]	K	68.
7 - 5 =	5 [M] 7 [M]	K	2.
2 - 5 =	2 [M]	K	- 3.
2×12 =	12 [M] 2 [M]	K	24.
4×12 =	4 [M]	K	48.
45÷9 =	9 [M] 45 [M]	K	5.
72÷9 =	72 [M]	K	8.

パーセント計算

200の5%は?	200 [M] 5 [M] [%]	10.
100の5%増しは?	100 [M] 5 [M] [%] [+]	割り増し → 5. 合計 → 105.
500の20%引きは?	500 [M] 20 [M] [%] [-]	割り引き → 100. 合計 → 400.
30は60の何%か?	30 [M] 60 [M] [%]	50% → 50.
12は10の何%アップか?	12 [M] 10 [M] [%]	20% → 20.
利益率を売価の25%と見た場合、仕入価格(原価)120円の品物の売価と利益額は?	120 [M] 25 [M] [%]	売価 → 160. 利益 → 40.

独立メモリー計算
複数の計算をするときに便利です。数値を記憶できる領域(独立メモリー)を使って計算します。
[M+]…独立メモリーに数値を加える
[M-]…独立メモリーから数値を引く
[MRC]…独立メモリーに記憶されている数値を表示する
[MRC][MRC]…独立メモリーに記憶した数値を消去する

80×9 = 720	[MRC][MRC] 80 [M] 9 [M+] [M]	720.
(-) 50×6 = 300	50 [M] 6 [M-] [M]	300.
(+) 20×3 = 60	20 [M] 3 [M+] [M]	60.
計) 480	[MRC] [M]	480.

・独立メモリーに記憶した数値はAC電源を押しても消去されません。

グランドトータル計算
計算の累計を求めるときに便利です。累計を記憶できる領域(GTメモリー)を使って計算します。
[GT]…GTメモリーに答えを加える
[GT]…GTメモリーに記憶された答えの累計値を表示する
[AC][GT]…GTメモリーに記憶された答えの累計値を消去する

5×6 = 30	[AC][GT] 5 [M] 6 [M] [GT]	30.
2×8 = 16	2 [M] 8 [M] [GT]	16.
4	4 [M] [GT]	4.
計) 50	[GT]	50.

税金計算機能 (以下は、税率 = 8%の場合)

■ 最初に税率を必ず確認してください

課税前価格 10,000 円に 対し…	10000	税込	税	10'800.
課税後の総額は？ 課税額は？			税	800.
課税後価格 10,800 円に 対し…	10800	税抜	税	10'000.
課税前の価格は？ 課税額は？			税	800.

• 税込 (または税抜) を押すごとに、税込 (または税抜) 価格と税額を、交互に表示します。

- 税率を設定し直すには
- ① **AC** (税率)
 - ② **%** (税率設定) を "税" "%" が点灯するまで押し続けます。
 - ③ **8 %** (税率設定) ...正しい税率 (例では8%) を入力します。
- DJ-120W では、ラウンドセレクターや小数点セレクターの指定 (CUT, 0 など) に従って、端数の「切り捨て」「切り上げ」「四捨五入」をします。本機では、まず税額を求めた後、税込 (または税抜) 価格を計算します。
 - 設定した税率は **AC** を押ししても消去されません。また、電源が切れた後も記憶されています。

レビュー&オートレビュー機能

正しく計算できたか、順を追って見直しできる機能です。計算の途中経過を、ビデオのコマ送り再生のように画面に順次表示していきます。

計算式と画面とを1ステップ*ずつ見比べ、計算途中に誤りがあったか確認できます。また、計算ミスを見つけたら即座に修正できます。

*ステップには "2" や "5" の数値だけでなく、"5×" や "2÷" など計算記号まで含まれます。最大300ステップまで有効です。

• 計算中にエラーが起ると (画面に "E" マークが点灯)、計算内容のメモリーが消え、レビュー&オートレビュー機能が無効になります。その場合は、**AC** を押してから、計算をやり直してください。

例: $(20 + 10 - 5) \times 2 \div 5$ を計算する場合 (答え 10)

1. **AC** を押してから、一通り計算をします。

AC 20 +	001	20.
10 -	002	30.
5 ×	003	25.
2 ÷	004	50.
5	005	5.
=	006	10.

- 画面の左上に、何ステップ目を表示中かを示すステップ番号が順次表示されます。
 - 計算が300ステップを過ぎると、この番号表示が消え、レビュー&オートレビュー機能が無効となります。
2. 計算を終えたら、**レビュー** を押し、計算内容の見直しを始めます。
 - 計算手順の画面表示は1ステップずつ、約1秒ごとに自動で切り替わります (「自動表示」機能)。ステップ表示のペースを変えることはできません。

レビュー	001	レビュー	20.
	002	レビュー	10.
	003	レビュー	5.
	004	レビュー	2.
	005	レビュー	5.
	006	レビュー	10.

- 自動表示中は、画面に "レビュー" と表示されます。
 - **レビュー** または **オート** を押すと、自動表示を途中で止めることができます。自動表示を再開するには、**レビュー** を押します。
 - **レビュー** または **オート** を押して、画面表示を1ステップずつ前後させることができます。表示したいステップを探すのに便利です。
3. 計算式と画面とを見比べ、入力ミスがないか、ステップ単位で順次確認していきます。

4. 計算内容を最後まで表示し終わると、自動表示が終了します。
 - 表示終了の直後に **レビュー** を押すと、表示が1ステップ戻ります。
 - 表示終了の直後に **オート** を押すと、計算内容の冒頭を表示します。
- 計算ミスを見つけたら
- 計算内容の見直しをしているときに計算ミスを見つけたら、自動表示を止め、修正します。
- ステップの挿入・削除・入替を伴うような修正はできません。
 - 独立メモリーの修正 (「M+」を「M-」に) または 「M-」を「M+」にする修正) はできません。
 - **レビュー** や **オート** を押して修正すると、レビュー&オートレビュー機能が解除されます。ご注意ください。
- 例: $(20 + 10 - 5) \times 2 \div 5$ を $(25 - 10 - 5) \times 2 \div 5$ に修正する場合 (答え 4)

レビュー または オート	001	レビュー	20.	*1
訂正	001	訂正	20.	*2
25 -	001	訂正	25.	*3
訂正	001	レビュー	25.	*4
レビュー	001	レビュー	25.	*5
...				
レビュー	006	レビュー	4.	*6

- *1 計算ミスを見つけたら、**レビュー** または **オート** を押して、自動表示を止めます。続けて **レビュー** または **オート** を押して表示ステップを前後させ、表示させたいステップを探すことができます。
- *2 **訂正** を押して、修正を始めます。
- *3 正しい計算内容 (例では "25 -") を入力し直します。
- *4 再度 **訂正** を押すと、修正が完了します。
 - 修正により再計算が行われます。このとき、記憶されているステップ数により、計算スピードが変わります。
 - 必要なら、**レビュー** や **オート** を押して表示ステップを前後させ、修正を繰り返します。
- *5 **レビュー** を押すと、修正後の計算内容を、最初から自動表示していきます。ここで、計算内容を最初から見直します。
 - 修正後の答えをただちに表示させるには、**AC** **レビュー** と押します。
- *6 自動表示が終わると、計算を修正した後の答え (例では、4) が表示されます。

● **ジャンプ** を使うと
表示させたいステップを直接表示させることができます。

ジャンプ 5* ジャンプ	005	レビュー	5.
----------------------------	-----	------	----

* 「5」はステップ番号です。記憶されているステップ数より大きい番号を指定すると、最後のステップが表示されます。

再チェック機能

同じデータを繰り返し計算したとき、どの箇所でもキー操作を間違えたかを確認することができます。

例: $10 + 20 + 40 = 70$

再チェック を押してから1回目の計算を行います。この計算は計算内容メモリーに記憶されます。

次に **再チェック** を押してから繰り返し同じ計算をします。計算手順2回目の入力中、画面に "再チェック" と表示されます。

(1) 1回目の計算と2回目の計算が同じであった場合

再チェック	再チェック	0.
10 +	001	10.
20 +	002	30.
40 =	004	70.

(2) 2回目の計算のとき入力ミスをした場合

再チェック	再チェック	0.
10 +	001	10.
30 +	002	30.
訂正 20 +	002	30.
40 =	004	70.

← 誤入力を修正

(3) 1回目の計算を間違えて、 $10 + 20 + 40 =$ と入力するところを $10 + 12 + 40 =$ と入力した場合

再チェック	再チェック	0.
10 +	001	10.
20 +	002	20.
再チェック	再チェック	0.
訂正 20 +	002	12.
40 =	004	70.

← 1回目の計算を表示*
← 1回目の誤入力を修正

* 1回目の計算を表示中、画面に "前回" と表示されます。

画面に "E" と表示されたら (計算エラー)

次のような場合は計算エラーとなり、画面に "E" マークが表示されます。**AC** を押すと、計算できる状態に戻ります。

1. ありえない計算をした ($6 \div 0$ など)
2. 計算結果が本機の計算範囲である整数 12桁を超えた (-1 兆 < 数値 < 1 兆)
 - 計算エラーのときに表示される数値は概算 (概数) です。例: "E" とともに "1.23" と表示されたときは、約 1.23×1 兆を表します。

(4) 2回目の計算時に入力ミスをし (20の代わりに25と入力した)、訂正時にさらに入力ミスをした (20の代わりに30と入力した) 場合

再チェック	再チェック	0.
10 +	001	10.
25 +	002	25.
訂正 30 +	002	40.
40 =	004	80.

- 1回目もしくは2回目の計算の入力が間違っている場合、"OK" は点灯しません。**=** や **M+**、**M-**、**%** を押して答えを求めた後は、**レビュー** と **オート** を押して、1回目と2回目の計算の計算結果を交互に表示することができます。
- 2回目の計算が1回目の計算と異なっている場合は、"OK" が点灯し、"ビー" と鳴ります。再チェックが終わると、"ピッピッ" と鳴ります。すべての入力が1回目の計算と同じに行われると、"OK" が点灯します。
- 消音にする場合は、**AC** を押してから **ミュート** を "ピッ" と鳴るまで押し続けます。消音にするとビーブ音アイコン "🔊" も点灯しません。再度同じ操作を行うと、元の状態に戻ります。